



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場会社名 ティアック株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 6803 URL http://www.teac.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 英 裕治  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 吉村邦彦 (TEL) (042) 356-9116  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,704	△24.5	△469	—	△601	—	△746	—
24年3月期第2四半期	12,857	△33.8	△438	—	△684	—	△675	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,359百万円(—%) 24年3月期第2四半期△1,332百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2.59	—
24年3月期第2四半期	△2.34	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,892	2,431	13.6
24年3月期	19,637	3,790	19.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,431百万円 24年3月期 3,790百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成25年3月期の期末配当は、業績等を考慮して決定する予定です。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,500	△8.2	900	166.1	450	—	350	291.2	1.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4 「2. サマリー情報 (その他) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	289,317,134株	24年3月期	289,317,134株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	976,876株	24年3月期	972,953株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	288,341,938株	24年3月期2Q	288,350,428株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災からの復興需要等を背景として、緩やかな回復傾向にあるものの、世界経済の減速や円高の影響を受け、低調な動きとなりました。その世界経済も、アメリカでは緩やかな回復傾向が続いていますが、欧州では財政危機の影響により景気低迷のリスクも存在し、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは収益性の改善と光ディスクドライブ事業の改革を方針とした事業計画を遂行中であり、売上高は9,704百万円（前年同期比24.5%減）と大幅な減収となりましたが、営業損失は469百万円（前年同期営業損失438百万円）と赤字幅は若干の増加にとどまり、経常損失は601百万円（前年同期経常損失684百万円）と減少しました。また、四半期純損失は746百万円（前年同期四半期純損失675百万円）と、特別損失の計上により増加しました。

当社は、オンキヨー株式会社との資本・業務提携により、販売の拡大、製品付加価値の向上、製品競争力の強化、新市場の開拓等においてシナジー効果を創出し、安定した業績の実現を目指しています。

参考：在外連結子会社の連結の際の円貨への換算レート

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間	
	期中平均相場	決算日の直物相場	期中平均相場	決算日の直物相場
米ドル	79.75円	76.65円	79.41円	77.60円
ユーロ	113.74円	104.11円	100.54円	100.24円

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## 1) 音響機器事業

音響機器事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,118百万円（前年同期比11.1%減）となり、営業損失は58百万円（前年同期営業利益54百万円）となりました。

高級AV機器（ESOTERICブランド）は、SACDプレーヤーの販売が引き続き堅調に推移、また期中に投入したクロックジェネレーター、インテグレートッドアンプの新製品も好調に推移しました。一般AV機器（TEACブランド）は、欧州での景気後退により、販売が減速しましたが、日本はPCオーディオ関連製品を中心に販売が好調に推移、また、期中に投入したハイエンドヘッドホンアンプも好評を博しました。音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、景気の停滞により欧米での販売が減少しましたが、日本国内においては、設備音響機器、放送局向け機器を中心に販売は好調に推移しました。

また、オンキヨー社との業務提携の一環として、6月より欧州におけるESOTERIC、TEACブランド製品の販売をオンキヨー社欧州現地法人に委託しました。これを受け、当社欧州現地法人において構造改革を実施した結果、当第2四半期連結累計期間ではそれに伴う費用が発生しました。なお、この費用は第3四半期以降見込まれる販管費削減効果により、通期では収益面でプラスに作用するものと見込んでおります。

この結果、音響機器事業全体では、円高の影響に加え、欧州における構造改革での一時的な影響により減収となり、営業損失を計上しました。

## 2) 情報機器事業

情報機器事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,070百万円（前年同期比38.9%減）となり、営業損失は412百万円（前年同期営業損失447百万円）となりました。

航空機搭載記録再生機器は安定した販売を維持、ストックビジネスである保守パーツ販売も堅調に推移しました。計測機器はデータレコーダーの販売が堅調であったものの、センサーは半導体製造装置向けロードセルの販売が不振に終わりました。医用画像記録再生機器はDICOM対応製品の販売が好調に推移しました。通話録音機器は、システムインテグレーターとの連携強化により好調に推移しました。ソリューションビジネスは、前年並みに推移しました。

光ディスクドライブは、収益性の低いPC向け販売を抑制したことに加え、光ディスクドライブ市場の需要減により、大幅な減収となりました。

この結果、情報機器事業全体では、光ディスクドライブ事業の縮小により、前年同期と比較して減収となりましたが、赤字幅は縮小しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は17,892百万円と前連結会計年度末と比較して1,744百万円減少しました。主な増減は、固定資産の減少510百万円、受取手形及び売掛金の減少1,514百万円、現金及び預金の増加157百万円であります。

#### (負債)

負債は、15,461百万円と前連結会計年度末と比較して385百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少42百万円、返品調整引当金の減少39百万円、退職給付引当金の減少176百万円であります。

#### (純資産)

純資産は、為替の円高による為替換算調整勘定の減少371百万円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少746百万円等により1,359百万円減少し、2,431百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という）、前連結会計年度末と比較して157百万円増加し、4,338百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、418百万円のプラス（前年同期736百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額1,422百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失777百万円、たな卸資産の増加額340百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、83百万円のマイナス（前年同期68百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、固定資産売却による収入4百万円、マイナス要因としては、有形固定資産取得による支出123百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、19百万円のマイナス（前年同期10百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、マイナス要因としては、短期借入金返済による支出593百万円、プラス要因として、短期借入れによる収入600百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,915	5,072
受取手形及び売掛金	4,894	3,379
商品及び製品	3,050	3,178
原材料及び貯蔵品	1,244	1,270
繰延税金資産	661	624
その他	430	431
貸倒引当金	△103	△97
流動資産合計	15,093	13,859
固定資産		
有形固定資産	2,721	2,575
無形固定資産	402	363
投資その他の資産	1,644	1,316
貸倒引当金	△224	△222
固定資産合計	4,543	4,032
資産合計	19,637	17,892
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,988	1,945
短期借入金	4,511	4,518
1年内返済予定の長期借入金	13	12
賞与引当金	270	257
製品保証引当金	247	209
返品調整引当金	99	60
事業構造改善引当金	53	53
その他	1,337	1,319
流動負債合計	8,521	8,377
固定負債		
長期借入金	13	7
退職給付引当金	7,075	6,899
資産除去債務	12	10
その他	222	165
固定負債合計	7,324	7,083
負債合計	15,846	15,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	2,259	1,513
自己株式	△107	△107
株主資本合計	8,458	7,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	△136
為替換算調整勘定	△4,773	△5,144
その他の包括利益累計額合計	△4,667	△5,281
純資産合計	3,790	2,431
負債純資産合計	19,637	17,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	12,857	9,704
売上原価	8,461	5,810
売上総利益	4,396	3,894
販売費及び一般管理費	4,834	4,363
営業損失(△)	△438	△469
営業外収益		
受取配当金	7	3
その他	59	71
営業外収益合計	66	74
営業外費用		
支払利息	95	90
売上割引	80	61
為替差損	112	39
その他	24	15
営業外費用合計	312	207
経常損失(△)	△684	△601
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	15	—
その他	0	—
特別利益合計	21	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	24
投資有価証券評価損	—	5
特別退職金	19	98
代理店解約損	—	30
その他	0	16
特別損失合計	20	175
税金等調整前四半期純損失(△)	△684	△777
法人税、住民税及び事業税	△4	△30
過年度法人税等	—	16
法人税等調整額	△4	△17
法人税等合計	△9	△31
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△675	△746
四半期純損失(△)	△675	△746



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△675	△746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△242
為替換算調整勘定	△600	△371
その他の包括利益合計	△657	△613
四半期包括利益	△1,332	△1,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,332	△1,359

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△684	△777
減価償却費	285	237
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△234	△173
賞与引当金の増減額(△は減少)	102	△12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△31	△26
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2	△36
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△533	—
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	95	90
投資有価証券売却損益(△は益)	△15	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5
有形固定資産除売却損益(△は益)	△4	24
売上債権の増減額(△は増加)	589	1,422
たな卸資産の増減額(△は増加)	△472	△340
仕入債務の増減額(△は減少)	313	1
その他の流動資産の増減額(△は増加)	183	29
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△254	39
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△1	△1
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△28	3
その他	121	82
小計	△585	555
利息及び配当金の受取額	8	5
利息の支払額	△97	△92
法人税等の支払額	△61	△49
営業活動によるキャッシュ・フロー	△736	418
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△172	△123
有形固定資産の売却による収入	49	4
無形固定資産の売却による収入	72	—
投資有価証券の売却による収入	60	—
定期預金の預入による支出	△10	—
従業員に対する貸付けによる支出	△0	—
その他	69	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	68	△83
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	350	600
短期借入金の返済による支出	△294	△593
長期借入金の返済による支出	△7	△7
社債の償還による支出	△40	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18	△18
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△19
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192	△157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△870	157
現金及び現金同等物の期首残高	4,593	4,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,723	4,338

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,754	6,667	12,422	435	12,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,754	6,667	12,422	435	12,857
セグメント利益又は損失(△)	54	△447	△393	△44	△438

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△393
「その他」の区分の損失(△)	△44
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△438

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,118	4,070	9,189	515	9,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,118	4,070	9,189	515	9,704
セグメント利益又は損失(△)	△58	△412	△471	1	△469

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△471
「その他」の区分の利益	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△469

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(オンキヨー株式会社子会社との業務委託契約および同社株式の一部譲受けについて)

当社は、平成24年10月31日開催の取締役会において、平成24年8月27日付「オンキヨー株式会社の子会社株式の一部取得に関する基本合意のお知らせ」にて公表しておりました、オンキヨー株式会社(以下、「オンキヨー」といいます。)の子会社であるデジタル・アコースティック株式会社(以下、「DAC」といいます。)の株式の一部をオンキヨーより譲受け、DACを共同で運営することについて、オンキヨーとの間で株式譲渡契約を締結し、また、DACとの間で業務委託契約を締結することを決議しました。

詳細につきましては、平成24年10月31日に公表しております「オンキヨー株式会社子会社との業務委託契約および同社株式の一部譲受けに関するお知らせ」をご参照下さい。

(オンキヨー株式会社とのIT業務提携および当社子会社の第三者割当による新株式発行について)

当社は、平成24年10月31日開催の取締役会において、オンキヨー株式会社との間でIT業務提携を行い、当社連結子会社である株式会社ティアックシステムクリエイトが同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を実施することを決議いたしました。

詳細につきましては、平成24年10月31日に公表しております「オンキヨー株式会社とのIT業務提携および当社子会社の第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」をご参照下さい。

(オンキヨー株式会社子会社への当社子会社の一部事業譲渡について)

当社は、平成24年10月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるTEAC EUROPE GmbHおよびTEAC UK LTD.の一般オーディオ機器(TEACブランド)、高級AV機器(ESOTERICブランド)の音響機器の事業をオンキヨー株式会社の子会社であるOnkyo Europe Electronics GmbHに事業譲渡することについて決議いたしました。

詳細につきましては、平成24年10月31日に公表しております「オンキヨー株式会社子会社への当社子会社の一部事業譲渡に関するお知らせ」をご参照下さい。